

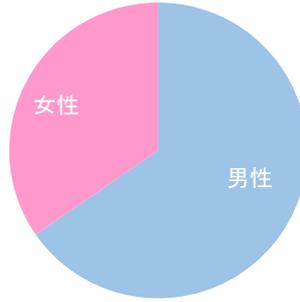
# ストレスチェック

## ストレスチェック集計(全般)

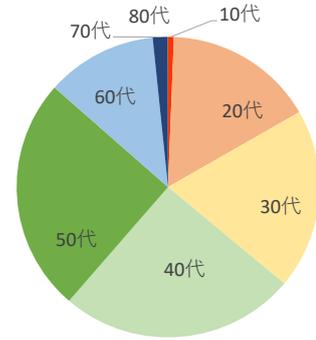
集計対象期間	2021/04/01 ~ 2022/03/31	受検者数	88,238	受検事業所数	1,038
--------	-------------------------	------	--------	--------	-------

性別	受検者数	割合
男性	57,683	65.4%
女性	30,555	34.6%

■受検割合：全体集計



■年齢別受検割合：全体集計

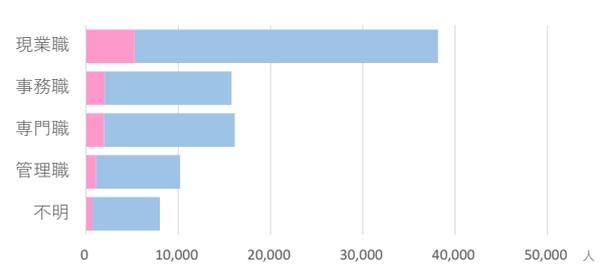


年齢階層	受検者数	割合
10代	541	0.6%
20代	14,182	16.1%
30代	17,111	19.4%
40代	22,288	25.3%
50代	22,212	25.2%
60代	10,467	11.9%
70代	1,400	1.6%
80代	33	0.0%
90代	4	0.0%

■合計点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,272	38,148	13.8%
事務職	2,042	15,765	13.0%
専門職	1,968	16,120	12.2%
管理職	1,115	10,203	10.9%
不明	716	8,002	8.9%

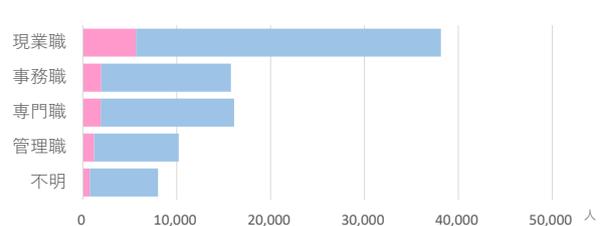
■合計点法高ストレス者数



■素点法高ストレス者割合

	高ストレス者数	受検者数	割合
現業職	5,654	38,148	14.8%
事務職	1,947	15,765	12.4%
専門職	1,896	16,120	11.8%
管理職	1,185	10,203	11.6%
不明	727	8,002	9.1%

■素点法高ストレス者数



### 高ストレス者を選定するための方法 <基本となる考え方>

- 次の①及び②に該当する者を高ストレス者として選定します。
- ①「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が高い者
- ②「心身のストレス反応」に関する項目の評価点の合計が一定以上であり、かつ「仕事のストレス要因」及び「周囲のサポート」に関する項目の評価点の合計が著しく高い者
- 上記①及び②に該当する者の割合については、評価基準の例では概ね全体の10%程度としていますが、それぞれの事業場の状況により、該当者の割合を変更することが可能です。  
-労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度実施マニュアルより抜粋-